

生産現場における5Sについて理解し、生産性の向上、安全性の向上に向けた現場の問題把握・改善技法及び後輩育成のための指導技法を習得します。
品質管理や生産管理の業務に従事し、指導的・中核的な役割を担う方にお勧めです。

現場の安全確保(5S)と生産性向上 講座

日時	令和8年 1月27日(火)～28(水) 2日間 9:30～16:30 (昼休憩1時間)		
会場	産業人材育成センター倉吉校 (倉吉市福庭町二丁目1番地)		
講師	(株)モア・クリエイト 代表取締役 天方 健二 (あまがた けんじ) 氏 [講師プロフィール] ～1988年3月 (株)神戸製鉄所 加古川製鉄所 勤務 1988年4月～ (株)モア・クリエイト設立 代表取締役 ・専門分野：生産管理、生産技術、工場管理手法、実現場の実改善、機械工学・材料工学・弾性学 ・ポリテクセンター関西／加古川 セミナー講師 主に“生産”“組織”“人”に関わる能力開発業務とコンサルティング業務を行う ・主な現場改善企業：製鉄・鍛造、ガラス製造、重化学工業、LCD製造、大手スーパー、飲料水、特殊鋼製造、文具家具、鋼材二次加工業、LCDバックライト(台湾)、携帯LCD(フィリピン)、大型LCD(中国)、産廃処理、水道バルブメーカーなど多数		
目的	“5S”の意味は殆どの方が知っています。しかし、これを職場に定着させるとなるとうまく行っていない例も多いようです。5Sは、安全確保は勿論のこと、品質や生産性、ひいては「一流のモノ造り」にも大きな効果のある重要マネジメント手法です。成功の要点は「①組織のトップ・統括責任者がコミットする」、「②全員参加で悩みの解決策を決める」、「③出来ることを決める」、「④決め事は作業標準化する」、「⑤決めたらPDCAで実行する」、「⑥決めた作業方法をくり返し作業をルーチン化すること」です。講座では5Sの意味、定着要件、推進のポイントなどを学びます。また、本講座で使用するテキストは悩める監督者、リーダーに自信を持ってもらうことを目的とした、言わば、マニュアルとなります。		
養成する能力	生産性の向上を実現できる能力		
締切り	令和8年 1月7日(水)15時まで	定員	15名(先着順)
受講料	7,500円/人(テキストを含む)		
持ち物	筆記用具		
申込み手続き	申込みは[とっとり電子申請サービス](以下のURL)からお願いします。 https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=18362 入力を終了し送信すると受付メールが自動配信されますが、この時点では確定していません。申込を確認し、受付を完了しましたら、申込確定のメールが配信されます。(定員オーバー等でお受けできない場合もメール連絡されます。) ※後日、ポリテクセンターが発行する請求書等を送付しますので期限内までに入金してください。		



講座概要

コース概要及び留意事項

- ① コースの目的
- ② これまでの改善の経験や現在の専門性の確認

現場改善の課題

- ① 5S活動定着の要件
- ② 5Sの意味、目的、コンセプト

5S推進のポイント

- ① 活動を成功に導く「5S」20ルールの策定
- ② 安全の定量化と改善目標の設定
- ③ 整理の方法と推進のポイント
- ④ 整頓の進め方 要点
- ⑤ 清掃の具体的な推進法
- ⑥ 清潔の意味と定着
- ⑦ 躰の高邁な意味とゴール
- ⑧ 5Sを財産として伝承するための要点
- ⑨ 事例研究
- ⑩ 演習 明日からの新しい考え方 明日からの新しい行動

<産業人材育成センター倉吉校会場案内>



《事務局》鳥取県商工労働部雇用人材局産業人材課 担当:岸、山本
電話0857-26-7691/EX-ル: sangyoujinzai@pref.tottori.lg.jp